

## b-Tag1 取扱説明書



本製品は、弊社製のトリガーユニット(b-Trigger301 など)が出力する LF 磁界を受けて動作する BLE タグです。



型番	MXAT-BL-01
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本書に掲載されている内容は、2017 年 10 月のものです。</li><li>● 本書の内容は製品の仕様も含め、改良のため予告なく変更することがあります。</li></ul>





## 目次







b-Tag1 取扱説明書 .....	1
目次 .....	2
安全上・使用上のご注意 .....	3
適用法規則 .....	4
製品概要 .....	5
外径寸法 .....	5
タグ ID .....	5
タグの動作モード .....	5
電池交換について .....	6
電池交換の手順 .....	6
ストラップの取り付け .....	7
仕様 .....	8
更新履歴 .....	8




## 安全上・使用上のご注意

異常が発生した時（故障・変な臭いや音がする等）にはすぐに使用を止めて修理を依頼してください。

	この記号はしてはいけない禁止内容が書かれています。
	この記号は必ず実行していただく強制内容が書かれています。

警告	
	<b>本製品を改造・分解しない</b> 破損・故障の原因になります。
	<b>本製品のふたを開けない</b> 防水機能の低下・破損・故障の原因になります。
	<b>激しい衝撃を加えない</b> 破損・故障の原因になります。
	<b>お子様の手の届く所に保管しない</b> 小さなお子様が食べたり、飲み込んだりしないように、手の届かない所に保管して事故が起ころぬようにしてください。

注意	
	<b>水などの液体の中に入れない</b> 本製品は防水処理を施していますが、完全防水ではありません。
	<b>強酸や強アルカリ性の水分がある環境下で使用しない</b> 破損・故障の原因になりますので、水以外の液体（アルコール・薬品）での洗浄は行わないでください。
	<b>電子機器の付近に置かない</b> 本製品をテレビ、パソコン、ACアダプタなどの高周波ノイズが出る電子機器の付近に置かないでください。また、電子機器より1m以上離して保管してください。内部電池を消耗させ、寿命を低下させる原因となります。
	<b>マトリクス製品の近くに置かない</b> 本製品を置くときは、マトリクス製品で使用しているACアダプタ、タグチェッカー、およびトリガーユニットや配線ケーブルより1m以上離してください。内部電池を消耗させ、寿命を低下させる原因となります。
	<b>マグネットや、金属製のものの近くに置かない</b> 本製品を使用する際、マグネットや金属製のものから可能な限り離すようにしてください。通信距離が著しく低下します。目安として5cm以上離してください。
	<b>トリガー磁界に長時間滞留しない</b> 本製品はトリガー磁界を検知するとタグデータを発信します。本製品をトリガー磁界に長時間滞留させないでください。内部電池を消耗させ、寿命を低下させる原因となります。

注意	
	<p><b>皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用を止め医師の診断を受ける</b></p> <p>長期間、地肌に直接触れ続けると、お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などを生じることがあります。</p>
	<p><b>保管場所を確認する</b></p> <p>以下の場所での使用や保管は避けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 直射日光のあたる場所</li> <li>● 高温多湿の場所</li> <li>● 急激に温度変化する可能性のある場所</li> <li>● 振動の激しい場所や埃の多い場所</li> <li>● 静電気を帯びやすい場所</li> <li>● 高周波ノイズが出る電子機器が 1m以内にある場所</li> <li>● 腐食性、可燃性のガスが発生する場所</li> </ul>
	<p><b>本製品のお手入れ</b></p> <p>乾いた柔らかい布でお手入れを行ってください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってふき取りしてください。また、仕上げに乾いた布で残った水分を取り除いてください。</p> <p>※薬品、アルカリ剤、溶剤に触れると劣化または破壊する恐れがあります。</p>

#### タグに識別シール等を貼る場合

タグを識別するためにシール等を貼る場合、なるべく紙製のものをご使用ください。シールの素材（特に金属蒸着）によっては、タグの送信信号強度を低下させる恐れがあります。

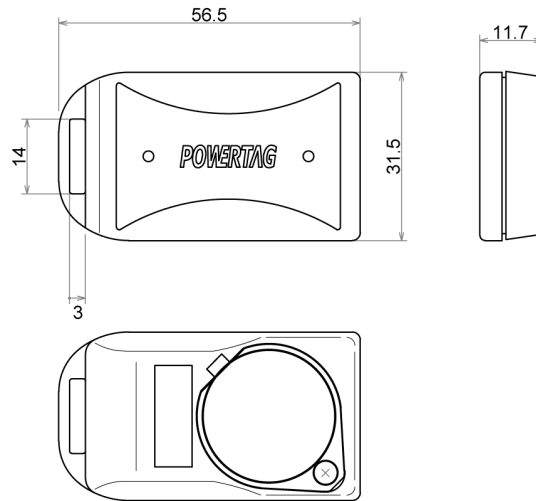
## 適用法規則

### 1. RoHS 指令

本製品は RoHS 指令(DIRECTIVE 2002/95/EC OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL of 27 January 2003 on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment)に適合します。

## 製品概要

### 外径寸法



単位：mm

### タグ ID

固有のタグ ID は、本体裏面のシールに記載しています。

**タグ ID : 6 桁 16 進数**

### タグの動作モード

拡張設定されたトリガー磁界を一定時間受信させることで、以下のモードを変更できます。

※トリガー磁界については、トリガーユニット取扱説明書を参照してください。

<b>通常モード(初期設定)</b>	トリガー磁界を検知した時のみ動作(電波発信)するモードです。
<b>定期発信モード</b>	トリガー磁界を検知した時およびトリガー磁界を検知しない時に 3 秒間隔で動作(電波発信)するモードです。
<b>加速度検知モード</b>	トリガー磁界を検知した時およびトリガー磁界を検知しない時に加速度を検知すると、30 秒間、3 秒間隔で動作(電波発信)するモードです。 ※加速度センサー非搭載の IC タグの場合は、定期発信モードになります。

## 電池交換について

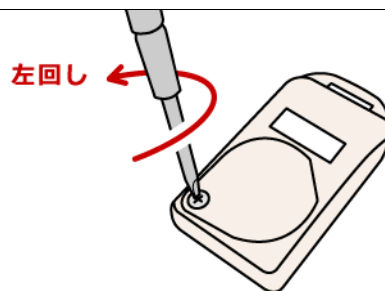
電池交換の際は、以下の手順で行ってください。

使用電池 : CR2032 × 1

### 電池交換の手順

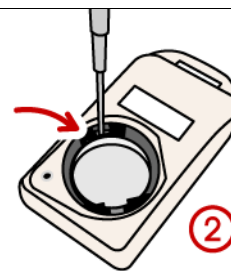
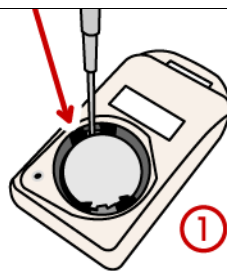
#### 1. 電池カバーの取り外し

本体裏面の電池カバーのネジを、プラスドライバーで外します。  
※精密ドライバーを使うとネジをなめる恐れがあります。



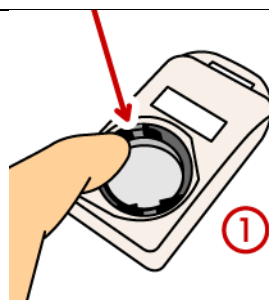
#### 2. 電池の取り出し


細くて折れにくい棒で、電池を取り出します。  
※基板を傷つけないようにご注意ください。  
※電池は飛び出すことがありますので、ご注意ください。

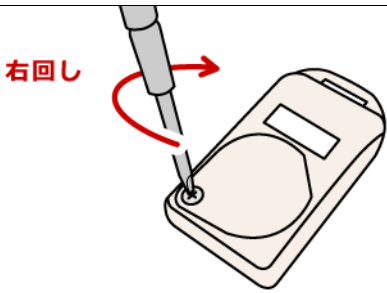


#### 3. 電池の装着

新しい電池を装着します。

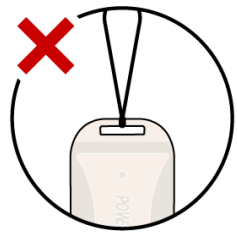
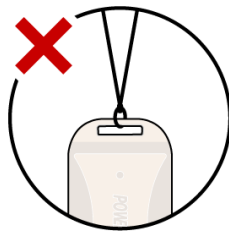
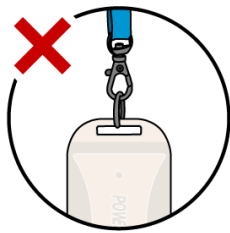
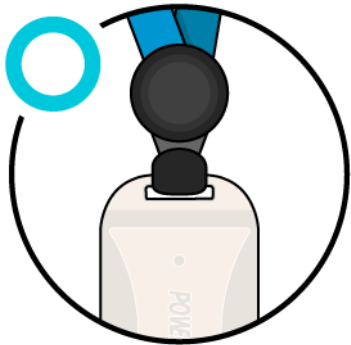


4. 電池カバーの Oリングを確認	
<p>電池カバーの Oリングの状態を確認する。</p> <p>※Oリングがねじれたり、断裂したりしていると、防水効果が失われます。</p>	<p>電池カバー（横）</p> 

5. 電池カバーの取り付け	
<p>ネジをなめないようにゆっくり取り付けます。</p>	

※使用済み電池の廃棄方法は、それぞれの市区町村の指導に従ってください

## ストラップの取り付け



タグをストラップ等で吊り下げて使用する場合、ストラップホールには幅の広いものを通してください。

細い金属等を使用した場合、一点荷重がかかり、ケースが破損することがあります。

※金属のフックやリングは使用しないでください

## 仕様

製品名	b-Tag1
型番	MXAT-BL-01
受信感度	高感度
トリガー検出指向性	3軸方向
送信周波数	2.4GHz帯
送信信号発信間隔	ランダム（定期発信時は3秒間隔）
電源	CR2032×1（220mAh 3V）
電池寿命	最長3年（※1）
動作温度範囲	-10℃～+50℃
ケース材質	ポリカーボネイト（※2）
防水性	IP66
外形寸法	(W)31.5mm × (D)11.7mm × (H)56.5mm
質量	約17g

（※1）

- ・トリガー駆動のみ：最長3年（23℃の環境下で、トリガー受信1分/日での使用条件下。）
- ・トリガー駆動及び定期発信：最長約1年（23℃の環境下で、トリガー受信1分/日 + 定期発信の使用条件下。）

（※2）

薬品、アルカリ剤、溶剤によって劣化する恐れがあります。接着剤を使用しないでください。高温・高湿度の環境下では加水分解する恐れがあります。

## 更新履歴

更新日時	Version	内容
2017.10.27	1.0.0	● 発行